

(11) バドミントン (64回)

1. 期 日 1部 令和6年10月28日(月)～10月31日(木)

月 日	開始時刻	内 容
10月28日(月)	11時45分 12時30分 13時15分	1部監督会議(奥州市総合体育館) 開会式 1部学校対抗1回戦
10月29日(火)	9時00分	1部学校対抗2回戦～準決勝
10月30日(水)	9時00分 10時30分	1部学校対抗決勝 1部個人対抗ダブルス1回戦～決勝 1部個人対抗シングルス男子1回戦 1部個人対抗シングルス女子1回戦
10月31日(木)	8時45分 14時00分	1部個人対抗シングルス男子2回戦～決勝 1部個人対抗シングルス女子2回戦～決勝 閉会式

2部 令和6年11月2日(土) 10:00 監督会議  
10:15 開会式

2. 会 場

1部 奥州市総合体育館 奥州市水沢羽田町72 TEL 0197-22-7000  
2部 杜陵高等学校体育館 盛岡市上田2丁目3-1 TEL 019-652-1814

3. 競技種目

1部 (1) 学校対抗(男女別) (2) 個人対抗ダブルス(男女別) (3) 個人対抗シングルス(男女別)  
2部 (1) 個人対抗シングルス(男女別)

4. 参加制限

- (1) 1部学校対抗は予選を行わず県大会への出場を認める。個人対抗は各地区予選を通過した生徒とする。  
但し、同一校でも全日制、定時制、通信制、単位制は区分して出場すること。学校対抗のチーム編制は監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手5～7名とする。
- (2) 1部個人対抗戦ブロック予選通過数一覧 (予選通過数はR5～R7の期間は固定とする)

	久慈	盛岡	花巻	北奥	県南	宮古	釜石・気仙	計
男子	1	11	4	9	7	1	4	37
女子	3	12	4	8	7	1	4	39

但し、今年度の県高校総体において、1部個人対抗でベスト8以上に入賞した選手、今年度の種目別選手権でベスト8以上入賞した選手、今年度のJOC予選会2次トーナメントでベスト4以上に入賞した選手は入賞種目に限り、各ブロック通過数のほかに推薦出場できる。また、本国体出場の1・2年生は単複とも推薦出場とする。

- (3) 2部個人対抗は各校4名以内(男女別)とする。

5. 参加資格

- 令和6年度岩手県バドミントン協会に登録した学校、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5名以上7名以内とする。但し、マネージャーが生徒の場合は選手を兼ねることができる。また、5名を欠いた場合はチームとして認めない。
- 監督・コーチは、校長が認める指導者とする。
- マネージャーは当該校の職員または生徒(3年生以下)とする。

6. 競技方法

- (1) 令和6年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程による。
- (2) 1部学校対抗は、2複3単で複-複-単-単-単の順で実施する。但し、第1単の選手は複を兼ねられない。また、勝敗は3点先取で決定しその後の試合は行わない。
- (3) 各種目ともトーナメント方式で行う。
- (4) 3位決定戦は学校対抗、個人対抗とも行う。
- (5) 1部学校対抗の選手変更は、監督会議をもって最終とする。

7. 使用シャトル

令和6年度(公財)日本バドミントン協会1種検定球

8. 参加料

1部学校対抗1チーム6,000円、1部個人1人1種目600円  
2部個人対抗は徴収しない。但し、競技用シャトルを参加者1名につき半ダース提出すること。

9. 組合せ

1部は高体連バドミントン専門部常任・強化合同委員会で作成する。  
2部は定通専門部バドミントン担当が作成する。

10. 申込方法

【1部】

学校対抗、個人対抗ともブロック予選終了後に参加料を添えてブロック責任者に申し込むこと。  
各ブロック責任者は予選通過一覧を10月8日(火)迄に委員長宛に送ること。  
各ブロック責任者は、参加校の参加申込書、参加料を組合せ会議(10月11日(金))に持参すること。

【2部】

参加各校はメールにて参加申込書を定通事務局に提出のこと。10月22日(火)〆切

連絡責任者

【1部】 渡邊清一(専門部委員長)

〒028-3172 花巻市石鳥谷町北寺林11-1825-1(花北青雲高等学校)  
TEL0198-45-3732 FAX0198-45-3746  
E-MAIL [ptf15-seiiti@iwate-ed.jp](mailto:ptf15-seiiti@iwate-ed.jp)

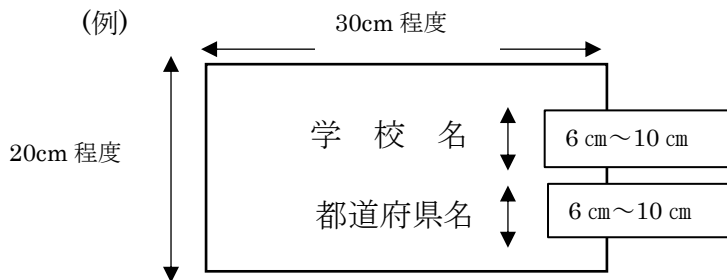
【2部】 濱崎浩秋(定通専門部バドミントン担当)

〒020-8543 盛岡市上田2丁目3-1(杜陵高等学校定時制)  
TEL019-652-1814 FAX019-652-0195  
E-MAIL [ptf3-hamazaki-hiroaki@iwate-ed.jp](mailto:ptf3-hamazaki-hiroaki@iwate-ed.jp)

11. その他

(1) 服装

- ア 競技時の服装は、相手又は観客に不快な感じを与えないようなウェア、シューズを着用すること。  
色付きの着衣を使用する場合及びシューズは(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。
- イ 上衣の背面中央に必ず高等学校名及び都道府県名を日本語で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。目立たない場合には、ゼッケンをつけてもらう場合もある。ウェアの表示については、一部(公財)全国高体連バドミントン専門部独自の申し合わせ事項を加える。文字列の大きさは、高さ6cm~10cmとし、(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。【上段:学校名、下段:都道府県名】ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦20cm程度、横30cm程度の大きさを基準とする。(ゼッケンの場合の文字の色は、黒い色または濃紺色とする。)



- (2) 競技中の水分補給には、主審の許可を必要とします。容器は倒れてもこぼれない蓋付きのものとなります。
- (3) 大会前の会場練習は試合開始前に行う予定です。
- (4) 1部学校対抗戦上位4チーム及び1部個人対抗戦上位2名(シングルス)、2組(ダブルス)に第5.3回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会への出場権を与える。
- (5) 1部学校対抗戦優勝校に第5.3回全国高等学校選抜バドミントン大会への出場権を与える。